

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2017.11

vol. 139

ドクターカー発進

当院鹿児島医療センターは、地域住民の救命率・社会復帰率の一層の向上に寄与することによって、地域の救急医療にさらに貢献するため、緊急車両ドクターカーを導入し、平成29年10月12日から運用を開始することになりました。

ドクターカーには、車内でも医療行為ができるように、ストレッチャーや医療機器の配置を工夫しており、除細動器、人工呼吸器、心電図モニタ、携帯型吸引器を装備しています。

運用に関してですが、月曜日から金曜日までの平日、午前8時30分から午後4時までに連絡いただいたら稼働です。重症患者の病院間搬送とヘリ搬送患者のヘリポートでのランデブーを運用の基本としますが、運用実績と共に適応の拡大も検討していきたいと考えています。

ドクターカー導入により、プレホスピタルケアを充実させ、より患者さんから信頼される病院を目指していきたいと考えています。

（文責：救急科医長 田中 秀樹）



皮膚がん登録数が全国トップになりました

皮膚腫瘍科・皮膚科

全国がん診療連携拠点病院の院内がん登録データが毎年集計されています。通常、各拠点病院での2年前のデータが翌年夏に国立がん研究センターへ提出され、集計結果は2年遅れて国立がん研究センターのHP上で発表されます。

今年8月に2015年の院内がん登録患者数が発表されました。この中で皮膚がん登録数が全国427施設の中で見事トップにランクインしました(図1)。当院で皮膚がんを主に診療している私たち皮膚腫瘍科・皮膚科は、2014年10月に新設されまして、2015年3月までは医師1名、4月から2名体制で診療していました。開設から3年経過した現在では、患者数の増加とともに医師スタッフも4名まで増員されていますが、わずか1~2名体制で全国トップの患者数を診療し得たこととなります。医師スタッフが少ない中で、開設前から当科に関わりサポートしてくださっている多くのコメディカルスタッフをはじめ、鹿児島医療センターの職員の皆様に心より深謝いたします。またこの結果は、連携施設の皆様から開設当初より多くの患者さんをご紹介いただいている賜物であり、私たちが皆様と円滑な病診連携を構築して皮膚がん診療において地域医療に貢献している証しであります。日頃より患者さんをご紹介くださいます連携施設の皆様に深く御礼申し上げます。これからも連携施設の皆様と連綿と結束しまして地域医療に貢献するのはもとより、次世代を担う医療者の育成や、未来志向の臨床研究を推進する全国屈指の皮膚がん基幹施設となるべく、スタッフ一同でさらに尽力してまいります。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(文責：皮膚腫瘍科・皮膚科科長 松下 茂人)

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録2015年症例全国集計

部位区分：皮膚			
427施設中 登録数上位15施設			
都道府県	施設名	件数	順位
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター	250	1
千葉	国立大学法人 千葉大学医学部附属病院	240	2
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	217	3
秋田	国立大学法人 秋田大学医学部附属病院	208	4
兵庫	兵庫県立がんセンター	208	4
福岡	国立大学法人 九州大学病院	206	6
三重	国立大学法人 三重大学医学部附属病院	196	7
熊本	国立大学法人 熊本大学医学部附属病院	191	8
福岡	久留米大学病院	174	9
栃木	自治医科大学附属病院	163	10
大阪	公立大学法人大阪市立大学医学部附属病院	162	11
北海道	国立大学法人北海道大学病院	161	12
山形	国立大学法人 山形大学医学部附属病院	160	13
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	159	14
青森	弘前大学医学部附属病院	155	15

※当院の皮膚腫瘍科・皮膚科が部位区分(皮膚)で院内がん登録件数**427施設中第1位**となりました。これは、地域の皮膚がん診療に大きく貢献した事を意味します。

【国立がん研究センターがん情報サービス 2017年8月9日更新ホームページより抜粋】

リードレスペースメーカー植込みが 当院で可能になりました

ペースメーカーは、電池寿命の長期化、小型化、MRI対応、および遠隔モニタリング等への開発が進んできました。平成29年9月より、新たにリードレスペースメーカーが使用できるようになりましたのでお知らせいたします（図）。平成29年9月現在で、リードレスペースメーカー植込み可能な施設が全国22カ所で指定され、当院も指定施設となっています。



通常のペースメーカーは、胸部の鎖骨下側に皮下ポケットを作成し、ペースメーカー本体と、同部位から経静脈的にリードを心臓内の任意の部位に植込むことによりペースメーカー治療を行っています。

ペースメーカー等の不整脈デバイス治療の手術件数は全国で年間6万件以上が行われており、デバイス治療に関連した合併症も散見され、特に感染を合併した際にはリードを含めたすべての異物除去が必須であることは広く認知されています。リードには断線、被膜損傷、静脈閉塞や感染などの問題があり、デバイス感染の多くは皮下ポケット感染から生じております。

今回のリードレスペースメーカーは、ポケットを作成する必要がなく、リードもありません。右室心室中隔心尖部に植込み、VVIRで、電池寿命も約10-14年、MRI対応のデバイスです。

また、適応患者が限定されていますが、ペースメーカー植込み適応患者がおられましたらご相談ください。

（文責：循環器内科部長 蘭田 正浩）

新任紹介



小児科

田邊 貴幸

2017年10月1日付で赴任しました小児科の田邊貴幸です。宮崎県都城市出身で、1994年に鹿児島大学卒業後に小児科に入局しました。小児科専門医、血液学会専門医を取得し、これまでは小児血液・腫瘍分野を専門に診療してまいりました。この度、縁あって当院へ赴任することになりました。小児科全般はもちろんです、AYA (Adolescent and Young Adult) 世代を中心に血液・腫瘍疾患の患者を診療し、小児科と内科の橋渡しの役割ができればと考えています。どうぞ宜しくお願いいたします。

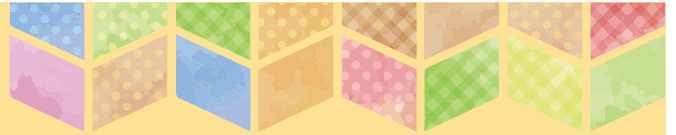


婦人科

新原 有一朗

10月から婦人科で勤務することになりました新原有一朗と申します。出身は鹿児島大学で、鹿児島大学産婦人科に入局し、現在医師6年目となります。当院には学生の時に実習をさせていただいたことがありますが、勤務させていただくのは初めてです。電子カルテの操作やシステムに慣れず、また力量不足のため、他の先生方、医療スタッフの方々にご迷惑をお掛けすると思いますが、できるだけ早く慣れて、少しでも病院と患者様のお役にたてればと考えております。よろしくお祈りいたします。

第2回健康フェスタ開催



『おじゃったもんせ〜いつまでも元気で、生き生きと〜』をテーマに、第2回健康フェスタが平成29年9月10日(日)鹿児島医療センター外来棟にて開催されました。

今年は2回目の開催となり、地域の方が健康に関心を持つ機会を作り鹿児島医療センターを知ってもらう目的で、緑色のTシャツを着用した職員らが一丸となり様々な企画をしたところ、当日は晴天にも恵まれ約200名の方が足を運んで下さいました。

昨年に引き続き、開場と同時に受付人数に到達した「血管年齢測定」「院内見学ツアー」は大盛況で、他にも「健康チェック」「手洗い体験」「車いす体験」「キッズコーナー」「救急蘇生体験」「薬の分包体験」、新企画として栄養科の「非常食の試食」、リハビリ科の「運動体験」など多くの体験型コーナーにご来場頂きありがとうございました。

来場された方からは、「健康をもう一度見直す機会となりました」「今後の生活に生かしたいと思います」や、体験型のコーナーに対しては、「健康体操も参考になり、家でもしたいと思います」「非常食が思っていたよりおいしい」「救急蘇生を体験出来てよかった」などの感想があり、どのコーナーでも得るものが多かったようです。また、家族で参加された方からは「子供と一緒に楽しめました」「子供の病院のイメージが、“怖い”から変わっていくのでとてもいい」「将来、医師や看護師になりたい」などの感想もあり、幅広い年齢層の方に楽しめていただけたと感じました。

今年は更に特設コーナーを設置し、当院で活躍している認定看護師による「認知症予防対策」や「糖尿病を理解しよう」の講演、管理栄養士による食事の塩分量を当てる「クイズ塩ミリオネア」を催し、会場からは積極的な質問をいただきこちらも大盛況で終わることが出来ました。

アンケートでは多くのご好評をいただきましたが、「血管年齢測定」「院内見学ツアー」などは機器台数や時間に限りがあり、希望者全員のご希望に添えない部分もありました。

今回来場された方々の、健康を維持・増進できれば幸いと医療サービス向上委員スタッフ一同願っています。何か身体や病気のことで気になることがあれば、メディカルサポートセンターがございますので、いつでもご相談ください。

来年も、多くの地域の方々のご来場お待ちしております。

(文責：看護師 堀 千奈美)



総合防災訓練



12月9日(土) 地震を想定した大規模災害(救急搬送・トリアージ)訓練を実施します。見学を希望される方は、当院管理課までお知らせ下さい。
(場所の関係で少人数での受付となりますので、ご了承下さい。)

■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域連携】 蘭田・谷口・田上・吉永・迫田・中田・吉留・菊永・櫻木・田辺・前田

【がん相談】 松崎・森・水元・木ノ脇・原田・上妻・久保・杉本

フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

